

フランクリン探険隊の足跡を訪ねる

伝説の北西航路探検クルーズ 20日間

ヨーロッパとアジアを結ぶ伝説の北西航路開拓は、人類の大きな夢でもありました。16世紀以降、富と栄誉を求め多くの探検隊が北西航路の開拓に命を懸けました。特に、1845年、2隻の軍艦と129名の隊員からなるフランクリン探検隊がイギリスを出港後、消息を絶ち、行方不明になるという北極探検史上、過去に例のない大惨事が起きました。

北西航路は、1903～05年に行われたロアール・アムンセンの完全踏破まで成し遂げられませんでした。

この探検クルーズでは、北極探検の歴史や文化、野生動物、大自然を堪能しながら、伝説の北西航路の歴史を辿る夢と浪漫と感動に満ちた壮大な旅です。

●旅行開始日～終了日・期間・利用客船

旅行開始日～終了日	期 間	利用客船
2016年8月 9日(火)～8月28日(日)	20日間	シー・アドベンチャラー

- 集合地／解散地： オタワ／エドモントン(カナダ)
- 食 事 条 件： 朝食19回、昼食16回、夕食17回
- 利 用 ホ テ ル： オタワ／フェアモント シャトー ローリエ(4ツ星)
エドモントン／ルネッサンス・エドモントン・エアポート(4ツ星)

■スケジュール

日 次	日 程			食 事	宿 泊
				朝 昼 夕	
1	8/ 9 (火)	午後	オタワ(カナダ)到着後 クォーク社指定のホテルに宿泊		オタワ泊
2	8/10(水)	午前 午後 午後	空路、チャーター機でカンゲルルススアークへ 着後、シー・アドベンチャラーに乗船 カンゲルルススアーク出港	H O	船中泊
3	8/11(木)	終日	イティレク&シシミュート観光	O O O	船中泊
4	8/12(金)	終日	イルリサット観光	O O O	船中泊
5	8/13(土)	終日	エキブ・セルミア観光	O O O	船中泊
6	8/14(日)	終日	ウマナック観光	O O O	船中泊
7	8/15(月)	終日	バフィン湾横断クルーズ	O O O	船中泊
8	8/16(火)	終日	ポンド・インレット観光	O O O	船中泊
9	8/17(水)	終日	デボン島観光	O O O	船中泊
10	8/18(木)	終日	ビーチー島観光	O O O	船中泊
11	8/19(金)	終日	サマーセット島観光	O O O	船中泊
12	8/20(土)	終日	フォートロス&ペロー海峡観光	O O O	船中泊
13	8/21(日)	終日	ビクトリー岬観光	O O O	船中泊
14	8/22(月)	終日	キング・ウィリアム島観光	O O O	船中泊
15	8/23(火)	終日	コロネーション湾&ケンブリッジベイ観光	O O O	船中泊
16	8/24(水)	終日	バサースト入り江観光	O O O	船中泊
17	8/25(木)	終日	アムンセン湾観光	O O O	船中泊
18	8/26(金)	終日	アムンセン湾観光	O O O	船中泊
19	8/27(土)	朝 午前 午後	クグルクトック(コバーマイン)入港／下船 空路、カナダのエドモントンへ 着後、空港ホテルに送迎致します。	O	エドモントン泊
20	8/28(日)	午前	エドモントンのホテルにて朝食後、解散	H	

(備考)食事欄：「H＝ホテルでの食事、O＝船内食」を表します。

■トランスファー・パッケージ(US\$ 1,950)には以下のものが含まれています。

- (1)1日目、オタワでの宿泊ホテル(朝食付)
- (2)19日目、エドモントンのエアポートホテルでの宿泊ホテル(朝食付)
- (3)2日目、オタワのホテルからオタワ空港までの送迎及びカンゲルルススアーク空港から港までの送迎
- (4)19日目、港からクグルクトック空港までの送迎
- (5)「オタワからカンゲルルススアークまで」及び「クグルクトックからエドモントンまで」の航空代金

探検クルーズのハイライト

- 伝説の北西航路を辿り、歴史浪漫に夢を馳せます。
- グリーンランドとカナダ北極圏のハイライトを探検します。
- ジャコウウシやカリブー、ホッキョクグマ、ホッキョクギツネ、多種多様な海鳥など北極の野生動物を観察します。
- 極北の厳しい大自然の中で暮らし、独特の伝統文化を持つイヌイットの人々との出会いを楽しみます。
- 北半球で最も多くのアイスフィヨルドが形成されるユネスコの世界遺産、イルリサットの氷河を見学します。
- ツンドラ・ハイキングなどで、氷河やフィヨルドなど極北の大自然を満喫します。



●クルーズ代金(大人／お一人様) ※単位：米国ドル(US\$)

シー・アドベンチャラー		集合地／オタワ 解散地／エドモントン
旅行開始日		8月 9日(火)
旅行終了日		8月28日(日)
期 間		20日間
客室タイプ	トリプル(3人部屋)	11,995
	ローワー・ツイン(丸窓)	13,995
	メイン・ツイン(丸窓)	14,995
	メイン・ツイン(角窓)	15,995
	スーベリア	17,995
	デラックス	18,995
スイート		20,995
トランスファー・パッケージ		1,950
アドベンチャー・オプション		カヤック、ハイキング

※トランスファー・パッケージは、クルーズ代金に含まれておりません。別途お支払頂きます。
※イルリサットのアイスフィヨルド観光の際、ヘリコプター遊覧はクルーズ代金に含まれておりません。
※相部屋：トリプル、ローワー・ツイン(丸窓)、メイン・ツイン(丸窓)、メイン・ツイン(角窓)の客室タイプに限り同一料金で相部屋のご予約を承ります。
※トリプル客室のベッドは、2段ベッドとシングルベッドです。



●詳細日程

第1日目 オタワ(カナダ)に到着

オタワ到着後、クォーク社指定のホテルに宿泊します。 オタワ泊

第2日目 オタワ発、カンゲルルススアーク着
乗船／出港

オタワからチャーター機にてグリーンランドのカンゲルルススアークへ。到着後、シー・アドベンチャラーに乗船。
町は、ツンドラの大地にあり、その周囲には、ジャコウウシやホッキョクギツネも生息しています。夕刻、探検クルーズに出港します。 船中泊

第3日目 イティレクとシシミュート観光

典型的なグリーンランドの村イティレクに到着します。**イティレク**には水が出ません。人口約130人のカラフルな家並みがツンドラの上に建っています。**シシミュート**では**伝統的なカヤックの実演**をご覧ください。グリーンランドが植民地だった18世紀の頃の建物が残る町を、大きなホッキョククジラの骨でできた門を抜けて散策してみましょう。 船中泊

第4日目 イルリサット観光

イルサット・フィヨルドの最奥部にある氷河は、**北半球で最も早く氷山が出来る場所**です。氷山は氷河から離れてフィヨルドを下り、バフィン湾へと向かいます。海に流れ出た氷山は、ニューファンドランドの沖合で、数年かけて溶解してしまいます。その後、湾の眺めの素晴らしい所でハイキングを楽しみます。 船中泊

第5日目 エキブ・セルミア氷河観光

グリーンランド屈指の小さな村**サッカク**を訪れます。人類学者によって、村の原住民や狩猟に関する本が出版されたこともありました。巨大な氷河を探索しながら、**エキブ・セルミア氷河**へと航路を進めます。 船中泊

第6日目 ウマナック観光

本船が**ウマナック**に近づく、息をのむほどの景観が広がり、町の名前になったハート型の山が聳え立っているのをご覧ください。
ウマナックは、ヌスアック本土に1758年にデンマークの植民地として建設されましたが、1763年、アザラシが豊富な島の近くに移されました。町を散策する際には、1860年に建てられた歴史的なオイル倉庫を訪れる事ができます。倉庫の裏手には、数年前まで使われていた泥炭小屋もあります。
午後には、1972年に5人のグリーンランド人のミイラが発見された**キラキツソック**を訪れます。現在、ミイラはグリーンランドの首都ヌークで保存されています。 船中泊

第7日目 バフィン湾横断クルーズ

本船が西へ針路を向けて航行する際には、氷山や海鳥が滑空する姿、クジラなどが見えるかもしれません。 船中泊

第8日目 ポンド・インレット観光

ポンド・インレットに到着すると、町並みや芸術家たちの集落が迎えてくれます。
ポンド・インレットの人々は、彼らが作り出した**国際的に有名な芸術**とホッキョクイワナ漁を生計を立てています。 船中泊

第9日目 デボン島観光

デボン島のマックスウェル湾で、イヌイットの祖先が暮らしていた狩猟の根拠地を訪れた際には、**ハイキング**や**ゾディアック・クルージング**を予定しています。ダンダス・ハーバー周辺では、**セイウチ**や**ジャコウウシ**などの野生動物を探索します。私たちが訪れる廃墟となった集落は、かつては**カナダ王立騎馬警察署**でもありました。 船中泊

第10日目 ビーチー島観光

デボン島の西端沖に、**ビーチー島**があります。石の多い浜に、ジョン・フランクリンの北西航路探検で亡くなった人々のことを厳粛に思い出させる**3つの墓標**があります。
ラドストック湾は、考古学的に素晴らしい遺跡です。近くには、**ホッキョクグマ**の観察場所であるキャズ・ウェルタワーがあります。 船中泊

第11日目 サマーセット島観光

北緯74度線上で、北極圏の北805km辺りのピール・サウンドにある**サマーセット島**を訪れます。ここでは、**カリブー**や**ジャコウウシ**を見学いただけます。また、サマーセット島の北東端にある**プリンス・レオポルド島**の断崖絶壁に巣を作る何十万羽もの**海鳥**を観察します。 船中泊

第12日目 フォートロスとペロー海峡観光

サマーセット島の沿岸に沿って、南へと航路を進めます。無人のバドソン湾会社の交易所があるフォートロスに上陸を予定しています。北米大陸とサマーセット島を隔てる狭いペロー海峡を抜け、西へと航路を進めます。 船中泊

第13日目 ビクトリー岬観光

1845年、ジョン・フランクリンは、北西航路を発見するために、129名の英海軍士官と乗組員を率いて、カナダ北極圏の探検にやってきましたが、以降の消息は不明となり、32年間にわたって救援の捜索が行われました(探検隊は1848年に遭難したと考えられています)。1859年にフランシス・マクリントックにより、最初に発見された白骨化した遺体は、キング・ウィリアム島の西沖で見つかり、船員だと考えられました。
1859年以来、フランクリン探検隊のたくさんの白骨化した遺体や遺物がキング・ウィリアム島のいろいろな場所で見つかりました。一番最近のものでは、2013年に、カナダ国立公園局が識別と分析のために、骨や約200の帆布、皮、爪、びょう、缶、金属のコンテナ、鋳鉄、ロープなどの遺物を収集しました。 船中泊

第14日目 キング・ウィリアム島観光

ジョン・フランクリンの物語の地に戻ります。フランクリン探検隊のエレバス号とテラー号は、2年の冬の間、島の近くの氷に閉じ込められ、1848年に船を放棄しました。
10年後、探検隊が遺した簡単な書置きが、ビクトリー岬の石塚の前で発見され、これにより生じた謎が、21世紀になってもなお探検隊の搜索熱を高めています。
フランクリン隊のエレバス号とテラー号の両船も行方不明のままで、様々な人が搜索を続けていましたが、2014年9月にビクトリア海峡探検隊が両船搜索を広い範囲で行った結果、9月7日にキング・ウィリアム島沿岸で沈んでいる**エレバス号**の遺物を発見しました。 船中泊

第15日目 コロネーション湾と
ケンブリッジベイ観光

私たちの探検クルーズでは、**コロネーション湾**の時間を最大限に確保するために、アイス・チャートや天気予報をはじめ、これまでの北極探検の経験を生かします。**上陸してハイキング**をおこなったり、**ゾディアックボート**で野生生物の探索も予定しています。もし天候が許せば、**歴史的な場所**を訪れることもできるでしょう。
ビクトリア島で最大のコミュニティでケンブリッジベイとして知られている人口約1400人の**イカルクトゥティアック**の人々は、彼らの**伝統文化**である歌やダンスで歓迎してくれることでしょう。 船中泊

第16日目 バサースト入り江観光

バサースト入り江周辺で、素晴らしい秋色に染まった**ツンドラ**の**ハイキング**を予定しています。 船中泊

第17～18日目 アムンセン湾観光

1851年、ジョン・レイとその同伴者たちは、2台のソリと5匹の犬で、湾の東端のドルフィン・アンド・ユニオン海峡を横断しました。この探検の終着点は、ジョン・フランクリン探検隊の船が氷に閉じ込められた地点から西へ80kmのところでした。もし、レイがそのことを知っていたならば、フランクリン探検隊は全く違った結末になっていたでしょう。 船中泊

第19日目 **クグルクトック(コバーマイン)入港**
下船／発、エドモントン着

クグルクトック入港／下船。感動あふれる北西航路の探検クルーズに別れを告げて下船です。
クグルクトック発、チャーター機にて空路カナダのエドモントンへ。エドモントン着後、クォーク社指定のホテルに宿泊。 エドモントン泊

第20日目 エドモントン(カナダ)にて解散

エドモントンのホテルにて朝食後、解散。